# 県内市町村教育委員会における主な取組について

県教育委員会では、生き活きプラン、教育振興基本計画等に基づき、落ち着いた学習環境づくりを進める中で、学力向上や暴力行為等問題行動への対応に取り組んできた。 市町村教育委員会においても、県の取組の趣旨を踏まえ、独自の取組が広がってきており、教職員の意識の変化や授業規律の確立、問題行動への迅速な対応、スマホ・ネット問題への児童生徒の自発的な活動の広がり等につながっている。

県内市町村教育委員会の特徴的な取組は以下の通りである。

# 1 倉敷市

# (1) 学力向上

# 〇市独自の学力調査

- ・小5・中2を対象にした、<u>市独自の学力調査</u>
- →各学校で調査結果を踏まえた課題に応じた授業改善を実施

# 〇市独自の教員加配

- ・ 市費で非常勤講師を配置
- →つまずきが発生しやすい小3・4の算数、中1の数学で少人数指導を実施 (小34人、中8人)

## 〇県教委の授業改革推進リーダー・推進員配置

- ・県教委が、授業改革推進リーダー・推進員を配置
- →「学習指導のスタンダード」に基づいた授業改善を実施(小学校15校、中学校11校)

## (2) 生徒指導

- ○学校の問題行動等への支援
  - ・<u>ケース会議の開催や支援員の配置等</u>により学校を支援する学校問題支援プロジェクト事業を実施
  - →暴力行為、いじめ、虐待、保護者からの理不尽な要求に対する適切な対応
  - ・市教委に警察官OBを配置
  - →警察との円滑な連携の下、学校の効果的な対応を支援

# 〇不登校やいじめ問題等への対応

- ・小学校49校、高校5校、特別支援学校1校、適応指導教室5教室に<u>市費でスクールカウンセラーを派遣</u>
- →学校等の教育相談体制を強化
- ・教師カウンセラーを全中学校に配置
- →関係機関等との連絡調整や不登校生徒等への直接支援を実施

## 〇生徒会活動の活性化

- ・<u>中学校生徒会を中心とした「子どもミーティング」</u>の開催や<u>「子ども版市民</u> 憲章」の策定
- →郷土を愛し、倉敷の発展に貢献できる子どもの育成

# 2 赤磐市

## (1) 学力向上

- 〇市教委のリーダーシップによる授業改善
  - ・市教育長、市教委担当者がきめ細かに学校訪問を実施

- →市教委による学校の実態把握の強化
- ・市校長会と連携し、「学習指導のスタンダード」の普及を推進。中学校における授業改革推進リーダー・推進員の配置
- →各校における授業改善の取組強化

## ○家庭学習習慣の定着

- ・全中学校区で、宿題や自主学習等について共通理解
- →家庭学習習慣の確立や家庭学習時間の増加

#### ○家庭生活習慣の改善

- ・中学校区でスマホ等の夜間使用制限の取組を推進
- →家庭生活習慣の改善に向けた家庭・地域との連携

## (2)生徒指導

- ○落ち着いた学習環境づくり
  - ・市教委内の相談窓口に学校相談員を配置
  - →スクールソーシャルワーカー等と連携し、問題行動や不登校等に対応
  - ・市内5中学校、4小学校にスクールサポーターを配置
  - →児童生徒への個別の支援を実施

### ○警察との連携

- ・首長部局に現役の警察官、育成センターに警察OBを配置
- →問題行動等の未然防止や初期対応の迅速化

# 〇心理検査を活用した集団づくり

- ・小学校4~6年、中学校全学年を対象にQU検査を年2回実施
- →学級集団の客観的な実態を把握し、好ましい集団づくりに活用

# 3 真庭市

# (1) 学力向上

- 〇市教委のリーダーシップによる授業改善
  - ・市教委が、学校に対して、学力向上の方針を明確に提示
  - →全学校が授業改善の取組を推進(特に、基礎基本の徹底、教材研究の充実)

#### 〇徹底した補充学習

- ・正答率の低かった問題を焦点化
- →徹底した補充学習や繰り返し学習を実施

#### 〇地域との連携

- ・地域の教育力を活用した、補充学習の積極的な取組
- →地域に開かれた学校づくりと基礎学力の定着

#### (2)生徒指導

- 〇心理検査を活用した集団づくり
  - ・市内の3~4中学校区、小学校5年・中学校1年でQU検査を実施
  - →学級集団の客観的な実態を把握し、好ましい集団づくりに活用

#### 〇不登校問題への対応

- ・全中学校にスクールサポーターを配置
- →中学校における不登校への対応の強化
- 〇スマホ・ネット問題に関する保護者等の啓発
  - ・<u>市内のケーブルテレビを通じて、スマートフォンの夜9時以降の利用制限</u>について、家庭・地域への呼びかけを実施
  - →地域ぐるみの取組を推進